



2021年度 学校経営・運営ビジョン

福島県立視覚支援学校

学校教育目標

視覚障がいにより生じた困難を克服し、社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を身に付け、社会の一員として、共に尊重し合いながら協働して生きていく豊かな心と健やかな体をもつ、調和のとれた人間を育成する。

- ・自ら学び、考え、行動する人間
- ・お互いを尊重し、思いやることのできる人間
- ・健康でたくましく明るい人間

自分らしく生きる力の育成をめざして

福島県立視覚支援学校長 橋本淳一

本校は、「見え方」に困難のある乳幼児から成人までを対象に、相談及び学校教育・職業教育を行っています。

「清く・正しく・明るく」の校訓のもと、幼児・児童・生徒が本来持っている力を引き出すとともに、社会の一員として、生き生きと自分らしく、主体的に生きることのできる力の育成を目指します。

そのために私たちは、次の3つを重点として教育を進めていきます。

- 1 「深い学び」の実現のための授業改善
- 2 「豊かな人間性と社会性」を育成するための体験活動や交流及び共同学習の推進
- 3 「自分の心と体を守る力」をつけるための健康教育推進と関係機関との連携

人は誰もが、かけがえのない存在です。私たち教職員は、児童生徒を尊重し、権利を守ります。また、常に研究と修養に励み、地域社会の一員として信頼されるよう、不祥事を起こさず、誠実に職務に取り組みます。

2021年度 重点目標

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善に努め、児童生徒の確かな学力の定着を目指す。
- (2) 地域や他の関係機関との連携及び協働を図りながら体験活動や交流及び共同学習を設定し、豊かな人間性と社会性の育成を目指す。
- (3) 家庭や医療、福祉等との連携を密にし、発達の段階に応じて疾病及び心身の自己理解を深め、適切な健康管理のできる児童生徒の育成を目指す。

深い学び

○「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、学びの連続性を重視しながら授業を工夫・改善し、実際の社会や生活に生かすことのできる確かな知識・技能を習得させ、新たな状況にも柔軟に対応できる力を育成します。

1. 教材の工夫や支援機器の活用により、一人一人の見え方の状態や障がいの特性に配慮した授業実践を行い、進路実現に必要な生きる力と確かな学力及び理療師としての専門性の向上に努めます。
2. 少人数を生かしたきめ細やかな指導を充実させるとともに、ICTを効果的に活用し、実際の社会で生き生きと生活できる力を育成します。

豊かな人間性と社会性

○地域の学校や団体等との交流及び共同学習を推進し、社会の一員としての意識向上を図るとともに、だれもが自分らしく生きることのできる社会の醸成のために、理解啓発を積極的に行います。

1. 触れる・聞く等の体験的活動や支援機器の活用をとおし、満足感や成就感を高めながら豊かな人間性を育みます。
2. 地域や近隣の学校との交流および共同学習を積極的にに行い、互いを理解し学び合う教育活動を推進します。
3. 地域支援センターの役割の理解啓発に努め、乳幼児教室や教育相談により、視覚障がいを有する方とその家族を支援し、自立と社会参加を促します。

心と体を守る力

○発達段階や障がいの状態等に応じ、自分の障がいに向き合いながら健康で安全な生活を営む姿勢を育むとともに、主体的に生活できる力を育成します。

1. 児童生徒が自らの障がいや健康に関心を持ち、適切な健康管理ができるよう、食育や健康教育を推進します。
2. 児童生徒の障がいを理解して適切な指導・支援を行うために、家庭及び医療・福祉・労働等の関係機関との連携を進めます。
3. 寄宿舎において、生き生きと自立した生活ができる力と社会性の育成のために、家庭と連携しながら視覚障がいに対応したきめ細やかな生活指導を行います。